

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020年4月25日作成 第 1 版

研究課題名	原発性肝細胞癌に対する開腹左葉切除術および完全腹腔鏡下左葉切除術の比較検討
研究の対象	1) 2013年1月1日から2017年12月31日までの5年間に当院において左葉存在の原発性肝細胞癌に対して左葉切除術を行った症例。 2) 初発肝細胞癌に対する治療法として前治療歴がなく、左葉切除術（開腹もしくは腹腔鏡下アプローチ）を行った症例。
研究目的 ・方法	<p>[目的] 本邦及び韓国における原発性肝細胞癌の外科的切除術式における術後短期および長期成績を調査し、低侵襲性の腹腔鏡下肝切除術が優れているのか、もしくは術前耐術能、腫瘍サイズや局在部位などを含めての層別化検討では、開腹肝切除もしくは腹腔鏡下肝切除術において差がないのか、などの一定の見解を得ることを目的としています。これまで左葉切除術において同様な検討がほとんど実施されておらず、今回は世界において肝細胞癌罹患が有意に高率である本邦および韓国における2国間多施設共同研究を日本肝胆膵外科学会の日韓共同研究プロジェクトにて行っています。</p> <p>[方法]</p> <p>肝胆膵外科高度技能修練施設における過去5年間に切除を行った左葉存在の肝細胞癌に対する開腹左葉切除術もしくは完全腹腔鏡下左葉切除術症例とし、後ろ向きに既に既存の情報よりデータを集積します。</p>
研究期間	西暦 2020年 6月 12日 ~ 西暦 2020年 12月 31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	肝切除時の手術因子、摘出標本の病理学的因子、術後再発有無・期間、再発時の治療方法、術後生存の有無や期間等について調査を行います。 情報として、背景因子や病歴、治療歴、検査データ、術後合併症の有無やその詳細等についての情報を用います。
外部への 試料・情報の 提供	共同研究機関から情報を取得する際は、個人情報特定出来ないよう匿名化を行い、記録媒体または郵送で提供を受けます。情報等を電子媒体で保管する場合は、パスワードを設定した電子ファイルで、横浜市立大学附属病院 消化器外科のインターネットに接続できないパソコンで保存します。このパソコンが保管されている部屋は、入室が管理されており第三者が立ち入ることはできません。本研究によって得られた情報も対応表と同様に管理します。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

外部からの 試料・情報の 取得と保管	該当しません
研究組織	<p>日本肝胆膵外科学会 日韓共同研究プロジェクト委員会 担当理事：東京女子医科大学 消化器外科 山本 雅一 和歌山県立医科大学 第二外科 山上 裕機 研究参加施設責任者：横浜市立大学 消化器外科 遠藤 格 研究事務局：関西医科大学附属病院 代表：外科 海堀昌樹</p> <p>参加施設： 肝胆膵外科学会高度技能修練施設（151 施設）及び、韓国代表施設 肝胆膵外科学会高度技能修練施設につきましては下記 HP を参照下さい。 http://www.jshbps.jp/modules/public/index.php?content_id=5 又、韓国代表施設に関しては、現在未定であります。</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 横浜市立大学附属病院 （研究責任者）消化器外科 熊本 宜文 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-782-9161（消化器外科 医局）</p> <p>主施設：関西医科大学附属病院 （研究責任者）外科 海堀昌樹 〒573-1010 大阪府枚方市新町 2-5-1 電話番号：072-804-0101 Fax：072-804-0170</p>	